

(第二次 第5時) TRY5 ディスプレイに画像を表示してみよう

<p>事前準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各チームに Pepper、PC、ボックスカード、ホワイトボード、ワークシートを配布する。 PCは Choregraphe を起動し、Pepper と接続しておく。 Pepper のオートノマスライフは OFF にし、STAND 姿勢にしておく。 	
<p>本時の目標</p>	<p>Pepper のディスプレイに画像を表示させるボックスの使い方を学ぶ。 各自の iPad で撮影した画像を Dropbox に取り込み、ディスプレイに表示する方法を学ぶ。</p>	
<p>学習活動</p>	<p>教師の働きかけ</p>	<p>学びの姿・学習評価</p>
<p>○今日の学習内容について知る (ディスプレイに画像を表示する方法を知る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日は Pepper のディスプレイに画像を表示する方法を学びます。 最初は 1 枚の画像を表示します。そのあと複数の画像を順番に表示します。 	
<p>◇基本課題 (Pepper のディスプレイに画像を表示してみよう) に取り組もう</p>		
<p>【基本課題】 ○プログラムをつくる ○プログラムを試す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「プロジェクトファイル」パネルの「+」をクリックし、表示されるメニューから「新規フォルダ」を選択し、名前を半角の「html」として「Create」をクリックします。「プロジェクトファイル」パネルに「html」フォルダが作成されたことを確認します。 プロジェクトファイルパネルの「+」をもう一度クリックし、「ファイルのインポート」を選択します。ここでディスプレイに表示させたい画像 (Dropbox にあらかじめ保存済み) を選択します。 画像ファイルがプロジェクトファイルにインポートされましたが、この画像ファイルを「html」フォルダの中にドラッグ&ドロップします。 画像を表示するには、「Show Image」ボックスを使います「Show Image」ボックスのプロパティで「ImageUrl」にインポートした画像のファイル名を直接入力し、ボックスを線でつなぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「html」フォルダに必要な画像を取り込み、画像を表示することができる。 <p>【情報活用の力】 (行動の観察)</p>
<p>◇発展課題 1 (表示する画像を増やしてみよう)</p>		
<p>【発展課題】 ○プログラムを工夫し、試す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 複数の画像を使う場合は、それぞれの画像ファイルをプロジェクトファイルにインポートし、「html」フォルダに格納します。次々と画像を表示するために「Show Image」ボックスと表示時間を調整する「Wait」ボックスを並列に格納します。 最後の画像が表示されたままになる場合は、「Show Image」ボックスの「onHideImage」に線をつないで絵を消します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「html」フォルダに必要な画像を取り込み、複数の画像を順次表示することができる。 iPad の画像を表示することができる <p>【情報活用の力】 (行動の観察)</p>
<p>◇発展課題 2 (iPad で撮影した画像を表示してみよう)</p>		
<p>【発展課題】 ○iPad で撮影した画像を表示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> iPad を専用の線で教師用パソコンにつなぎ、画像を Dropbox 内にコピーしましょう。 この後の作業は今までの方法と全く同じです。 	
<p>○まとめをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の操作に加えて、今まで学習した「喋らせる」「動く」などのボックスをつないでいくと、もっと楽しいプログラムができます。 	